



松前町ホームページ

松前町



松前藩屋敷浮き紫陽花

北海道で唯一の日本式城郭である松前城の城下町。江戸時代の町並みを再現した白壁と黒い瓦屋根が、青く勇壮な日本海とコントラストを描く。この歴史豊かな町に、色とりどりの花が彩りを添える風景は、圧巻だ。春には約250種1万本の白やピンクの桜が咲き乱れ、7月下旬には「浮き紫陽花」の淡いグ

レイションが松前藩屋敷の池を染める。実は、渡島地域で唯一、海に沈む夕日が見える町でもある。「本州との交易で栄えてきたこのまちは、海を抜きにしては語れません。晴れた日に道の駅『北前船松前』から対岸の津軽半島を眺めると、長年住んでいてもハッとするほど美しいと感じます」と飯田さん。美しい花に彩られた歴史とロマンのまちを、ゆっくりと散策してみたいかが。



福山城(松前城)

彩りの競演するまち



渡島大島(おしまおしま) 日本最大の無人島



松前歴史ガイド 飯田 幸仁さん

江戸時代の町人の衣装に身を包み、松前の歴史の案内人を務めて約20年。「衣装は時代劇『水戸黄門』の助さん・角さんのイメージ。この町の歴史を紐解くのに洋服は似合わないと思ったので」と語る。

松前町に生まれ育った。飲食店を営んでいた際に来店客の町案内をしたことが、観光ガイドを始めるきっかけとなった。「松前は本州の歴史との繋がりが深い町。時の囀

崎氏(後の松前藩主)が豊臣秀吉や徳川家康と面会していたと話すと、とても驚かれます。海を渡る交易は、現代の私たちが想像するよりずっと盛んだったのですね」と解説する。

軽妙な語り口で観光客を楽しませる。人気の秘訣は、道南の訛り。「方言も、お客さんの旅情を高める重要なポイントです」

松前藩屋敷



松前町西館68 ☎0139-42-2726

